

新井薬師前駅周辺地区 まちづくり通信

2013.3
創刊号

発行：新井薬師前駅周辺地区まちづくり検討会

～より魅力的で安全性の高い、快適なまちに～ わたしたちの「まち」が大きく変わります!!

わたしたちが住んでいる西武新宿線新井薬師前駅周辺地区が、概ね10年後を目途に生まれ変わります。西武新宿線が地下化（中井駅～野方駅間）されることになり、新井薬師前駅の駅前広場や関連する街路が整備されます。それにあわせて、より魅力的で安全性の高い、快適なまちの実現を目指し、地域住民がさまざまな課題について検討します。

新井薬師前駅周辺地区まちづくり検討会が発足 地域住民がまちづくりに向けて様々な課題を検討します。



設立総会当日の様子



設立宣言



役員を紹介

地域住民が具体的なまちづくりを検討するための場として、平成25年2月に「新井薬師前駅周辺地区まちづくり検討会」の設立総会が開かれ、正式に発足しました。

これまでも地域に根ざしたまちづくりの勉強会が行われてきたなかで、平成24年11月から検討会設立の準備が進められ、対象地区の町会や商店会から推薦された人、公募に応じた人合わせて41名の参加を得て、このたび発足の運びとなりました。

検討会では新井薬師前駅周辺地区をより魅力的で活力があり、安全性の高いまちにするため、地域住民の積極的な参加を経て、まちづくりの方針や目標の検討を行います。

具体的には、新井薬師の門前町である駅前の各商店街とその周辺については、地域コミュニティの活性化や来訪者・観光客などを意識した魅力づくりの検討を行います。

地震時の危険性が高い線路南側の木造住宅密集市街地については、災害に強い市街地へ改善するため、耐火・耐震建物への誘導を促進し、避難路の確保、延焼遮断帯の形成を図ることなどの検討を行います。

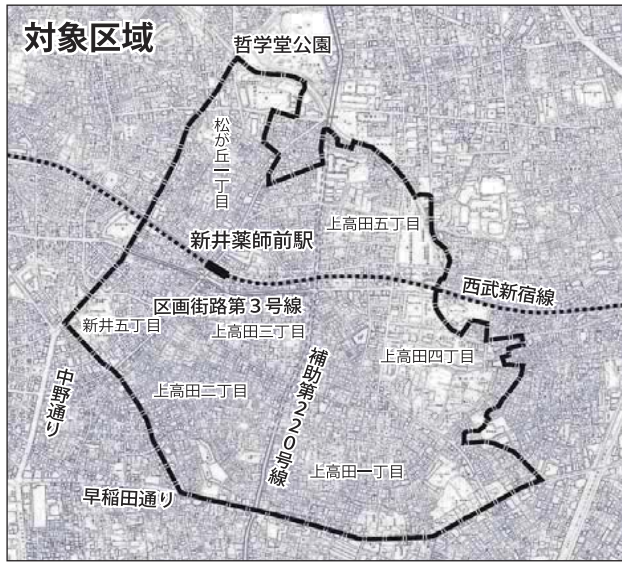
検討会は、平成25年から3年後を目途に構想をとりまとめ、中野区に提案し、区と協働でまちづくりを進めることを目的にしています。

地域のみなさまにおかれましては、検討会の活動に対するご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

新井薬師前駅周辺地区まちづくり Q&A

Q まちづくりの対象となる区域はどこですか？

A 上高田1～5丁目(全域)、新井5丁目(全域)、松が丘1丁目(1～33番地)で、対象面積は130haになります。現在、この区域には約1万5千世帯、約2万4千人が居住しています。



この地図は株式会社ミッドマップ東京の東京都2500デジタル白地図を使用。無断複製を禁ずる。

Q まちづくりは何が契機になったのですか？

A 平成15年に、西武新宿線沿線（鷺ノ宮、都立家政、野方、沼袋、新井薬師前の5駅周辺）の地元住民が「開かずの踏切」の早期解消に向けて署名活動を行ったのがはじまりです。この地元住民の悲願である連続立体交差事業は、平成23年8月に中井駅～野方駅間が都市計画決定され、実現に向けて大きく前進しました。これにあわせて関連する街路などが整備されることになり、それがまちづくりの契機になりました。

Q 新井薬師駅前周辺はどのように変わるのですか？

A 西武新宿線の地下化にあわせて駅前広場が整備され、関連する区画街路第3号線（新井5丁目～上高田4丁目）の基盤整備も推進されます。

Q 西武新宿線の連続立体交差事業とは？

A 東京都が主体となって行う事業で、計画では中井駅付近から野方駅付近までの約2.4kmについて鉄道が地下化されます。これによって中野通りなど7か所の踏切が除却され、「開かずの踏切」が解消されます。東京都では平成32年度の完成を目指しています。



新井薬師前駅付近踏切

Q 検討会では、どんなことを検討していくのですか？

A 西武新宿線沿線まちづくり計画では①新井薬師前駅周辺の魅力化②駅前の交通利便性の向上③商店街の活性化④災害に強い市街地へ改善⑤歴史文化資源の保全と活用の5項目が方針に掲げられています。検討会では、その方針にそって構想を実現するための方策の検討や調査・研究、住民意向の把握、広報活動などを行います。

Q 地域住民の参加は？

A まちづくりに地域住民の方々の積極的な参加をお願いします。検討会では中野区の支援を得ながら、まちづくりに関するワークショップやアンケート調査、専門家による講演会、まち歩きなどを実施していく予定です。そうした活動を通して得られた地域住民の方々の意向を構想のとりまとめに反映させていくことにしています。

これまでの主なあゆみ

平成 15 年8 月	西武新宿線の踏切解消促進に関する署名 69,228 人
平成 16 年1 月	西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の結成（区民、区議会、中野区）
平成 16 年8 月	新井薬師前駅周辺まちづくりの会の発足
平成 20 年4 月	西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会の開催
平成 20 年5 月	国が西武新宿線中井駅～野方駅間を新規着工準備箇所として採択
平成 21 年10 月	新井薬師前駅周辺まちづくりの会の「災害に強いまちづくり部会」が具体案をまとめ区長へ提言書を提出
平成 21 年11 月	中野区「西武新宿線沿線まちづくり計画」策定
平成 22 年8 月	中野区「西武新宿線沿線まちづくりに係る基盤施設の整備基本計画」策定
平成 22 年10 月	中野区が西武新宿線（中井駅～野方駅間）連続立体交差化の都市計画案および基盤施設の整備基本計画説明会開催
平成 23 年3 月	中野区が区画街路第 3 号線・4 号線の都市計画素案説明会開催
平成 23 年8 月	東京都が西武新宿線（中井駅～野方駅間）連続立体交差化の都市計画決定 中野区が新井薬師前駅・沼袋駅周辺地区の駅前広場を含む区画街路第 3 号線・4 号線の都市計画決定
平成 23 年11 月	連続立体交差事業および区画街路等関連事業に係る用地測量説明会開催
平成 24 年5 月	「災害に強いまちづくり部会」が「上高田まちづくりの会」として独立 西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会の開催
平成 24 年11 月	新井薬師前駅周辺地区まちづくり検討会設立に向け準備がスタート
平成 25 年2 月	新井薬師前駅周辺地区まちづくり検討会設立総会



今後のおおまかな予定

平成 25 年	まちづくりの目標や方針の決定
平成 26 年	まちづくりの解決策や対応策の検討
平成 27 年	まちづくりの構想のとりまとめ



新井薬師前駅周辺地区まちづくり検討会会員

〈会 長〉

高橋 宏治

〈副会長〉

五十嵐 克明

今井 和俊

森岡 和夫

〈会 計〉

上野 康久

高橋 まゆみ

〈事務局〉

赤木 高缺

入沢 恵一

伊藤 博

折坂 保

城所 清二

小杉 卓

高山 巖

本郷 得治

〈監 事〉

小池 大介

奈良 敦

〈会 員〉

池田 芳生

内山 雅央

大川 良夫

向後 浩

斎藤 浩一

佐藤 攻

志垣 昌宏

志水 政計

下沢 武文

真後 和男

寺江 慶一

花岡 哲也

堀田 明正

松島 信一郎

森嶋 茂樹

山口 桂司

吉田 正彦

若林 邦彦

〈相談役〉

森 治平

(上高田東町会会長)

高橋 佐智子

(上高田共和会会長)

関田 光延

(上高田北町会会長)

川野辺 次男

(上高田隣人協力会会長)

齊藤 喜久雄

(上高田二丁目町会会長)

根本 英昭

(新井中町会会長)

山田 晃

(松が丘片山町会会長)

(敬称略)

西武新宿線の新井薬師前駅周辺地区は、新井薬師や哲学堂公園など、由緒ある歴史文化資源を有するまちとして発展してきました。このわたしたちのまちが、平成 23 年 8 月の西武新宿線連続立体交差化および駅前広場を含む区画街路第 3 号線の都市計画決定により、より魅力あるまちに大きく変わろうとしています。

本検討会は、地域住民が主体となって、将来のまちづくりに向けて検討していくために設立されました。検討会は、中野区地区まちづくり条例に規定する地区まちづくり団体に登録し、新井薬師前駅周辺地区をより魅力的で活力があり、安全性の高いまちにしていくために議論していくことになります。

概ね 3 年かけて、当地区のまちづくり構想をとりまとめ、中野区に提案することとしています。地域の皆様方の多くの知恵と力をお借りし、将来の世代が誇りに思えるような「まち」の実現に向けて、真摯に検討してまいります。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

平成 25 年 3 月

新井薬師前駅周辺地区まちづくり検討会会長 高橋 宏治

新井薬師前駅周辺地区まちづくり検討会

・所在地（郵送先）

・お問い合わせ先